

那須塩原市の教育が育む、未来を拓く力 ～大塚陽葵さんのプログラミングが示す可能性～

『2024年度全国選抜小学生プログラミング大会』におきまして、那須塩原市立黒磯小学校3年（受賞当時）の大塚陽葵さんがグランプリである「文部科学大臣賞」に輝く快挙を達成した栄誉を称え、去る4月4日、市長特別賞の贈呈式を執り行いました。

贈呈式には、AI分野の専門家であり、那須塩原市におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を担っていただいている、那須塩原市DXフェローの岡田陽介氏にも同席をいただき、陽葵さんとの対談も実現いたしました。



※向かって左から、渡辺美知太郎市長、大塚陽葵さん、岡田陽介那須塩原市DXフェロー

■全国大会グランプリ【文部科学大臣賞】受賞！ - 大塚陽葵さんの「未来を描く手」 -

先月、開催された『2024年度全国選抜小学生プログラミング大会』において、那須塩原市立黒磯小学校の3年生、大塚陽葵さんの作品「未来を描く手」が、見事グランプリの文部科学大臣賞に輝きました。

この大会は、共同通信社や下野新聞社などが運営する全国新聞社事業協会が主催しており、文部科学省やデジタル庁などが後援しているもので、「小学生の必須科目であるプログラミング教育への理解促進と子どもたちのプロデュース力、考える力、表現力の向上に寄与する事を目的としています。

2024年度大会は「みんなの未来」をテーマに掲げ、全国から1284組の応募が集まる非常にレベルの高いコンテストになりました。

陽葵さんは2023年度の大会にも栃木県の代表として出場し、その時も準グランプリを受賞する素晴らしい成績を残されましたが、「今回はグランプリを取りたいです。」と意気込みを語るなど、熱い気持ちを持って臨まれた大会での初受賞となりました。

■創造性を育む原動力 - 愛情に溢れる家庭 -

グランプリを受賞された陽葵さんの受賞作品は、実際の粘土細工をするように、自身の手の動きに合わせて、画面中のグラフィックスの形を自由に変えられる革新的なプログラムです。このプログラミングには「入院中の子どもたちや、色々な理由で学校に通うことが難しい子どもたちが、このプログラムを通して図工の授業に参加できるようにしてあげたい。」という陽葵さんの温かい思い、大きな優しさが込められています。

そんな優しさあふれる陽葵さんがこのプログラムを開発するに至った背景には、幼い頃の体験がありました。妹さんが以前、誤って粘土を口に入れてしまうことがあったため、本物の粘土を使わずに造形活動ができる方法を模索する中で、プログラミングに出会ったとのこと。

また、お父様からは、陽葵さんは4歳の頃にはプログラミングの本に夢中になり、本がぼろぼろになるくらい読み込んでいたことや、「その都度、その都度に褒めてあげることが子どもたちにとっては大切」と言ったお話もお聞きすることができました。

■岡田DXフェローとの懇談の中で - 何でもできる時代 -

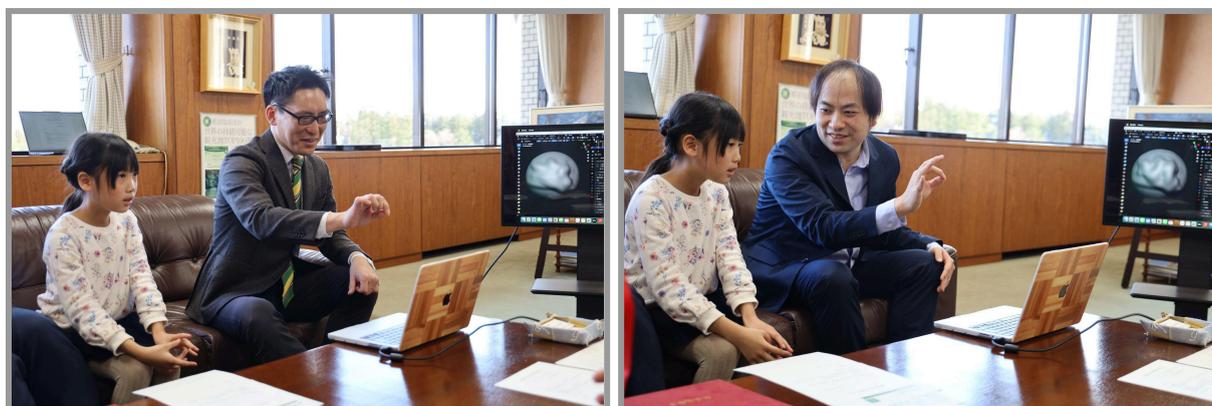
懇談会では、陽葵さんに実際にプログラミングの実演をお願いし、渡辺市長や岡田DXフェローにもプログラミングによって作成した作品を実体験いただきました。

体験した二人からは、画面に表示されるものの滑らかな動きや、手の動きと連動するその操作性の高さ、本物の粘土を触っているかのように、手の動きに沿って画面中のグラフィックスが変化する楽しさに驚きの声や、笑みがこぼれていました。

また、10歳からプログラミングを始め、コンピュータグラフィックスを専攻。高校3年の時には【全国高等学校デザイン選手権大会】で陽葵さんと同じように、グランプリの文部科学大臣賞を受賞されている岡田DXフェローからは、今回のプログラミングに関して「どんなツールを使ったのですか?」「苦労したポイントはどこでしたか?」といった質問がありましたが、一つ一つ丁寧に答える陽葵さんの姿はとても堂々としており、日本を代表する二人の会話に、市長はじめ会場内のみんなが聞き入るシーンもありました。

岡田DXフェローからは、将来の夢や次に作りたいものなどについての質問もあり、陽葵さんから「将来はTVの動画作成などに関わってみたい。」「次は、お年寄りも若い方も、みんなに使ってもらえるようなものをプログラミングしてみたい。」と迷うことなく、嬉しそうに答えてくださったのが、とても印象的でした。

懇談を通じて、陽葵さんへ岡田DXフェローから「今回のプログラムは本当に素晴らしいもの。今の時代。あるもので使えないものは、自分で作ってしまおうというように、何でも出来てしまう。これからも色々なものに興味を持ってみてください。」というメッセージが送られました。



【陽葵さんのプログラムを体験する渡辺市長と岡田DXフェロー】

■那須塩原市の魅力と未来へのメッセージ

◆那須塩原市の充実した教育・子育て施策

- 未来を育む教育 -

那須塩原市は、子育て世代にとって魅力あふれる場所を目指し、「豊かな心と確かな学力をもち、たくましく生きる力をもつ児童生徒の育成」を目標に、ICT教育の推進、体験学習の重視、インクルーシブ教育の推進、地域との連携といった特色ある教育施策を展開しています。

美しい自然の中で実体験を通じた知識の習得と豊かな感性を育むとともに、未来を切り拓くための情報活用能力や社会性を身につけ、全ての子どもたちが共に学び成長できる環境づくりを目指しています。

- 子育て世代に優しい環境 -

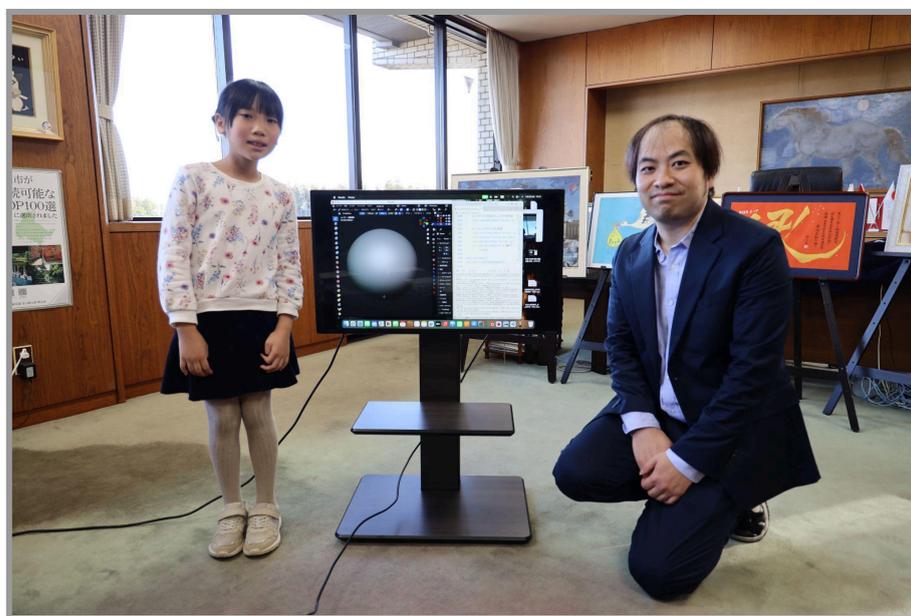
市内には教育関連施設などが充実しており、子育てに関する相談や交流の場の提供、経済的なサポートも行っています。また、都心へも新幹線で約1時間と交通アクセスも良好であり、子育てと仕事を両立しながら、快適な生活が送れる環境があります。

◆未来を拓く子どもたちと子育て世代のみなさまへ

これまでも、那須塩原市では、岡田DXフェローの御尽力の下、教育分野をはじめ様々な分野でDXを推進してきました。これからも、那須塩原市のたくさん子どもたちが、陽葵さんのように自分の「夢」や「希望」を描き、それに向かって大きく羽ばたけるように、DXを推進しながら学びの機会の充実などに取り組んでいきます。

可能性は無限大∞

キラキラ輝く子どもたちの未来を、那須塩原市で育てませんか



【大塚陽葵さんと岡田陽介那須塩原市DXフェロー】